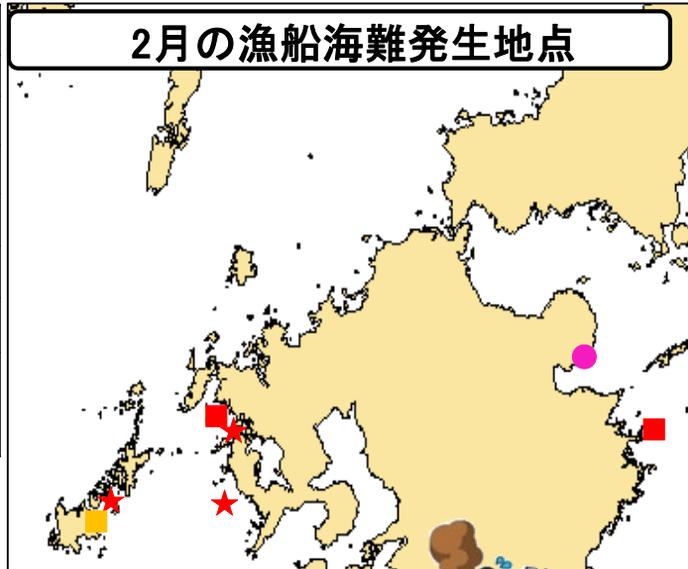


令和5年2月発生
七管内漁船海難 計7隻

令和5年2月累計 11隻 (前年14隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ **3隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳	
			2月	令和5年累計
衝突	★	3	山口県 0	0(4)
火災	●	1	福岡県 0	2(3)
運航不能 (機関故障)	■	2	佐賀県 0	0(1)
運航不能 (推進器障害)	■	1	長崎県 5	7(5)
合計 7隻 (昨年 3隻)			大分県 2	2(1)
死亡、行方不明者: 0名			合計 7隻	11隻 (14隻) ()は昨年同月



過去最悪 クラス 2023年 漁船機関故障 発生ペース前年比※2.4倍!?

漁船の機関故障原因ランキング(過去6年間)

※前年(2022年)の平均月発生ペースとの比較

1 クラッチワイヤーの断線 4隻
金属製のクラッチワイヤーの耐久性は高そうに思えますが、海という過酷な環境の下、長期間使用することで、断線のリスクが高まっていきます。「長期間使用している」「被膜が破けている」「さび色になっている」等の場合は、特に注意が必要になります。業者による点検整備を受け、定期的に交換しましょう。



1 主機関冷却海水ポンプインペラの破損 4隻
インペラは消耗品です。長期間の使用で損耗し、破損のリスクが高まります。定期的に関放点検を行い、少しでも異常を認めたら予防的に交換しましょう。過去には、破損したインペラの破片が海水吐出管内に完全に詰まり、大掛かりな整備(高額な修理費)が必要になった事例もあります。



2 主機関冷却水ポンプVベルトの破断 3隻
Vベルトも消耗品です。機関起動前点検で張り具合や摩耗亀裂等を確認し、異常を認めたら整備・交換しましょう。



- 3 燃料タンク付パッキン・切換弁・ソール劣化による燃料への水分・空気の混入 2隻**
- 燃料こし器の詰まり 2隻
 - セルモーター故障 2隻
 - 潤滑油配管の腐食による漏油 2隻
 - 主機関冷却海水配管の腐食による漏水 2隻



※不慣れな分解整備、点検が必要な箇所は、無理せず専門業者に依頼しましょう。

●上記以外にも多数の機関故障が発生しています。

発効前点検の内容、トラブルシューティング等、安全運航に欠かせない情報が満載の「マリンセーフティガイドブック」を公開中です。右二次元コードからは是非ご覧ください→

